

プログラム

7月27日（土）

会場：かがわ国際会議場（高松シンボルタワー 6F）

9:25～9:30 開会の辞

9:30～10:00 会長講演

座長：平川 栄一郎（香川県立保健医療大学）

「WHO 呼吸器細胞診報告様式から肺癌取扱い規約細胞診判定基準の改訂へ」

羽場 礼次（香川大学医学部附属病院 病理診断科・病理部）

10:00～11:00 一般演題①

座長：有安 早苗（川崎医療福祉大学 医療技術学部 臨床検査学科）

山本 珠美

（独立行政法人国立病院機構四国がんセンター 臨床検査部）

1. 核分裂数 2 個以上 / 対物 40 倍視野に注目した標本の観察は

HSIL 判定の手がかりになり得るか（その 1）

近藤 ゆめの（愛媛県立医療技術大学大学院 保健医療学研究科 医療技術科学専攻）

2. 核分裂数 2 個以上 / 対物 40 倍視野に注目した標本の観察は

HSIL 判定の手がかりになり得るか（その 2）

小田 千寛（愛媛県立医療技術大学大学院 保健医療学研究科 医療技術科学専攻）

3. 子宮頸部上皮内腫瘍との鑑別に苦慮した子宮頸部小細胞神経内分泌癌の 1 例

菅 涼太郎（住友別子病院 病理診断科）

4. 細胞診診断が有用であった胸膜多形型中皮腫の 1 例

原田 南菜（徳島赤十字病院 病理診断科）

一般演題②

座長：佐々木 健司（JA 尾道総合病院 病理研究検査科）

山内 豊子（香川県立中央病院 中央検査部）

5. 肺原発顆粒細胞腫の一例

多田 有輝子（香川大学医学部附属病院 医療技術部 病理部門）

6. 免疫染色が診断に有用であった耳下腺原発小細胞神経内分泌癌の一例

高野 隼（高知大学医学部附属病院 病理診断部）

7. 膵管内管状乳頭腫瘍が鑑別に挙げられた EUS-FNA 圧挫細胞診の一例

横井 祐介（坂出市立病院 臨床検査科（病理））

8. 頸部リンパ節の穿刺吸引細胞診 (FNAC) にて

迅速な診断と治療につなげることができた梅毒の 2 症例

小原 昌彦（高知赤十字病院 病理診断科）

11:10 ~ 12:00 代表者会議

12:10 ~ 13:00 教育講演 1 ランチョンセミナー

座長：羽場 礼次（香川大学医学部附属病院 病理診断科・病理部）

「一般病院の病理診断科で肺癌治療に何が貢献できるか

－肺癌マルチ遺伝子検査も含めて－

清水 重喜

（独立行政法人国立病院機構近畿中央呼吸器センター 統括診療部臨床検査科）

共催：中外製薬株式会社

（13:00 ~ 13:15 休憩）

13:15 ~ 14:00 教育講演 2

座長：塩田 敦子（香川大学医学部 医学科健康科学）

「Serous ovarian tumor とその関連病変の病理と細胞診」

森谷 鈴子（滋賀医科大学医学部附属病院 病理部）

14:00～14:45 **教育講演 3**

座長：山元 英崇

(岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 病理学 (腫瘍病理) 分野)

「唾液腺腫瘍の病理と細胞診 Up to Date」

長尾 俊孝 (東京医科大学 人体病理学分野)

14:45～15:05 **総会**

(15:05～15:20 休憩)

15:20～16:10 **教育講演 4 スイーツセミナー**

座長：松永 徹 (香川大学医学部附属病院 医療技術部 病理部門)

「病理検査室の業務改善と精度管理」

西阪 隆 (県立広島病院 臨床研究検査科・病理診断科)

共催：ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

(16:10～16:25 休憩)

16:25～17:10 **教育講演 5**

座長：村上 一郎 (高知大学医学部附属病院 病理診断部)

「骨軟部腫瘍の細胞診と pitfall」

孝橋 賢一 (大阪公立大学大学院医学研究科 診断病理・病理病態学)

17:10～17:55 **教育講演 6**

座長：中山 宏文 (JR 広島病院 臨床検査科 (病理診断科))

「今日からあなたも尿細胞診のエキスパート！？」

— 診断アプローチ, クルーとピットフォール —

大谷 博 (社会医療法人白十字会 白十字病院 病理診断科)

17:55～18:00 **閉会の辞**
